

令和3年度 正色小学校 学校努力点について

令和3年4月8日

1 研究主題について

自ら、ともに、学びを深める正色っ子

2 主題設定の理由

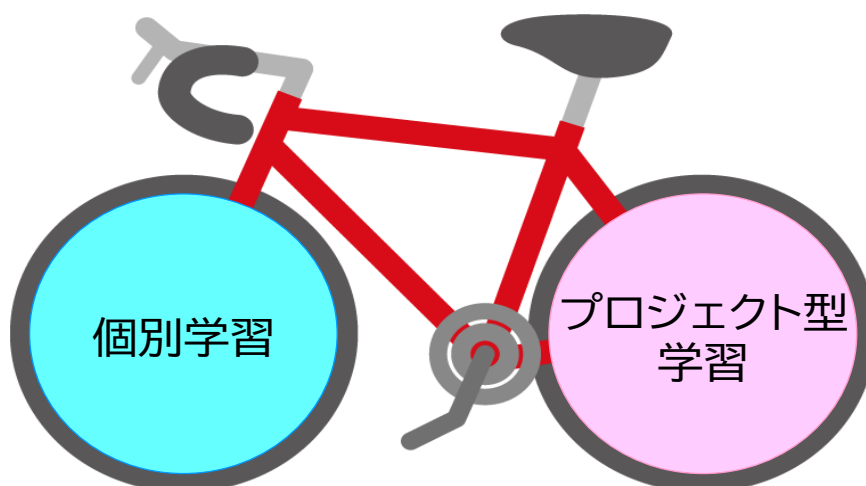
学習指導要領が改定され、主体的・対話的で深い学びの育成が求められている。しかし、昨年度の学校評価アンケートにおいて、児童、保護者ともに、「学校で学習したことを『もっと知りたい』『やってみよう』と思って、自分で進んで学習している」の項目のポイントが低かった。「学習が分かるようになった」の項目は特に低くないことから、学習内容は理解できているが、主体的に進んで学びを深める意欲がもてなかったり、学びを深める方法を知らなかったりすることが原因ではないかと考えられる。また、学習内容の理解に課題がある児童も各学年に複数みられる。

そこで、個別学習～ドンドンクエスト～で、授業の中で、個別に、自分に合った課題を行う場を設け、自分で計画を立てて、主体的に学ぶ力を育成する。また、プロジェクト型学習～プロジェクトS～で、課題解決型の学習に取り組み、友達とコミュニケーションを取りながら課題の解決策を考えたり実行したりする力を育成する。この2つの取り組みを行うことによって、自ら、ともに、学びを深める正色っ子の育成を目指す。

3 実践の進め方

1年目となる今年度は、個別学習～ドンドンクエスト～の取り組みが、習慣化されるようにしていきたい。授業の中で、習熟度に合った課題や、自分の学びに必要な内容を選んで学習する時間を設けたり、家庭学習を、発達段階に応じて、内容を選んだり、週の予定を立てて計画したりさせていく。また、教科は固定せず、プロジェクト型学習～プロジェクトS～の取り組みを年2回（前期・後期各1回）は行うようにする。プロジェクト型学習の進め方は、名古屋市教育センター『授業づくりハンドブック』を基本とし、学びの見通しや足跡が分かるワークシートの工夫をする。各学年の取り組みは中間報告会や最終報告会で共通理解し、主体的な態度の評価の仕方についても、話し合っていきたい。

自ら、ともに、学びを深める正色っ子の育成



4 授業実践内容

(1) 授業実践について

プロジェクト型学習～プロジェクト S～の取り組みについて、担任全員が、年間2回（前期・後期）の授業実践を行う。前期・後期も1回ずつ、学校努力点授業参観で保護者に公開する。（必ずしも発表の場面でなくてもよい。）公開する授業がどの場面で、その学習に至るまでにどのような学習の経過をたどってきたのかを保護者に周知する必要がある。（教室掲示や事前のお知らせなど）代表授業については、全体会で事前・事後検討を行い全員の学びの機会とする（代表授業者：玉本）。

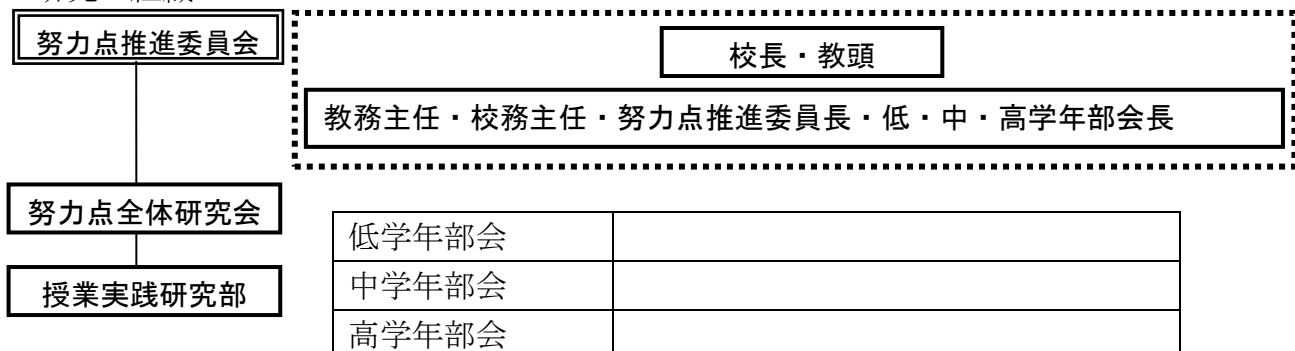
(2) 評価計画

主体的に学ぶ態度の評価方法は、各学年の教育課程に準ずる。個別学習～ドンドンクエスト～、プロジェクト型学習～プロジェクト S～どちらの取り組みでも、使用したプリントや参考にした資料があれば、共通理解できるようにする。

5 学校評価の計画

- ・ 努力点に関わる授業参観を、全学年で年間を通じて二度実施する。
- ・ 1月に、自己評価のための保護者アンケートを実施し、資料を得る。
- ・ 学校評議員会で、教育活動への意見を聞く。
- ・ 学校評価全体会、及び、努力点全体研究会で最終的な評価を行う。

6 研究の組織



7 その他

- ・ 1学期中に、教育センターのユニットによる現職教育があります。